



会長 武川 毅
幹事 千葉 正宏
会報 猪股 育夫
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2804回例会 2022. 1. 20 } 合併号 No.21 第2805回例会 2022. 1. 27 }

※第2804回例会 2022. 1. 20

本日の出席率

・本日の出席率 89%

ニコニコボックス

- ・武川毅会長 岩渕正彦会員のスピーチに期待して。
- ・千葉正宏会員 本日のスピーカーは岩渕正彦会員です。よろしくお願いします。
- ・遠藤光則会員 今年初の出席です。今月で71歳になり、あと余命が29年となりました。
- ・高田次雄会員 霜柱が勢いよく土を盛り上げる厳しい寒さが続いております。今日から大寒の入り、尚一層ご自愛下さい。遅れ馳せながら初春を迎えられおめでとうございます。今年も一年間仲良くして下さい。1月12日、56回目の結婚記念日でした。これから先元気で頑張らなくては。
- ・岩渕正彦会員 本日スピーチ担当、宜しく願いいたします。
- ・飯塚仁哉会員 岩渕石油の正彦社長の今日のお話は石油に関する話でしょうか。楽しみにしています。
- ・佐々木崇会員 岩渕正彦会員のスピーチに期待して。
- ・江川元徳会員 死亡者、全世界で何万人？、感染者は何億人？、いつまで続くのか。早くEnding(終了)してほしい。
- ・八谷郁夫会員 岩渕正彦会員のスピーチ楽しみです。
- ・千葉吉男会員 岩渕正彦会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅原慶一会員 岩渕正彦会員のスピーチに期待して。
- ・小野寺伸浩会員 岩渕正彦会員のスピーチに期待。
- ・加藤亮会員 岩渕正彦会員のスピーチにご期待しております。
- ・伊藤幸子会員 本日の岩渕正彦会員のスピーチにご期待します。

- ・佐藤幸一会員以下 本日のスピーチに期待して。
 佐藤敬喜会員 菅野幸一郎会員 菅原文之会員
 猪股育夫会員 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 山田正会員 富士原裕子会員
 及川昭宏会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 二階堂恭子会員 關孝会員 後藤和人会員
 志賀昭洋会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 武川毅会長

本日は大寒で、暦の上では一年で一番寒い日とされており、1月14日の「どんと祭」も裸参りは中止となり、毎年やっている街の賑わい行事がひとつ減り残念な気持ちであります。早くいろいろな行事が再開されることを望んでおります。

1月15日にトンガ沖で大噴火があり、それによって津波が発生しましたが、普通の地震による津波と違っていたため、予報がかなり遅く出ましたが、石巻では東日本大震災もあったことから夜中にもかかわらず避難されたようです。トンガの災害に対する支援の要請がガバナー事務所からきておりますのでよろしくお願い致します。

1月18日(火)に台北西門RCと45周年記念事業・グローバル補助金についてリモートで話し合いを致しました。詳しいことは、小野寺伸浩前会長から報告していただきます。

幹事報告 千葉正宏幹事

- ・ガバナー事務所より
 トンガ沖大規模噴火災害義援金の要請
- ・ガバナーエレクト事務所より
 1. 2月6日(日)開催予定の「次期ガバナー補佐会議」は中止

- 2. 「地区チーム研修セミナー」開催の案内
 日時 2月20日(日) 登録 12:30
 会議 13:00~14:50
 懇親会 15:00~17:00
 場所 盛岡グランドホテル

各委員会報告

- ・親睦活動委員会 (加藤亮委員長)
 次週1月27日(木)は、新年夜間例会です。若鯨本館で行います。参加される方は午後6時30分までにお集まり下さい。会食はしませんが、お弁当をお持ち帰りいただきます。
- ・会員増強委員会 (熊谷敏明委員長)
 今年度初めての委員会を1月26日(水)に開催します。現在数名の新入会員の推薦があります。来年度とあわせて会員の拡大が出来ればいいなと思っております。委員の方よろしくお願い致します。

台北西門RCと佐沼RCのオンライン会議

- (小野寺伸浩前会長)
 日時 1月18日(火) 13:00~(日本時間)
 参加者 西門RC:シモンズ会長 ビグメント・(3名) ジュニア会員、タイ会員
 佐沼RC:武川会長、及川副会長、千葉(7名) 幹事、八谷P・G、高橋会員
 菅原(慶)会員、小野寺会員

台北西門RCとグローバル補助金の申請に関してオンライン会議を行いました。台北西門RCは、45周年を迎えるにつけて、記念事業として、グローバル補助金制度を活用して、台湾にある心身障害の方のための施設にパンを焼いたりしてトレーニングをする設備(キッチン)を申請したいとのこと。当クラブとしては、このグローバル補助金に対して援助国側として承認することに致しました。これ以降審査が進んで最終的にはRIの承認をもらって実施ということになります。

今週のスピーチ

「私たちの業界について」

岩渕正彦会員

前回のスピーチでもお話ししましたので、本日はその続きで後半ということになります。

私が属する石油業界も、様々な変化に見舞われています。全国のSS数は3万弱とピークであった時代の半分にまで減っております。いろいろな要因がありますが、燃料油の需要も年々数%ずつ減っていくとの予想が定着しています。

燃料と密接な自動車業界では、メルセデスベンツの2030年新車販売EV化宣言は記憶に新しく、また、トヨタでは水素エンジン車に乗ってレースをしている豊田社長のテレビCMもよく見かけました。業界としては劇的に水素にかわるのではなく、水素と二酸化炭素の合成新燃料の開発を進めれば、今のエンジンという部品を残すことで、自動車業界が抱える雇用を減らさないとはいわれています。これがEVになりますと雇用が1/3になります。即ち下請、孫請がなくなるということです。これは部品の数が1/3になるということです。

一方で業界紙を見ますと、国内自動車保有台数は、ざっくりした数字で言いますと、2021年3月時点では82,000千台、この内ハイブリッド車10,000千台で全体の約12%、EV車126千台で全体の0.15%というのが実

態のようです。ハイブリッド車も伸びていますが、まだまだガソリン車の割合は多く、石油業界も新しい風に敏感になりながらも、既存燃料の販売もしっかり維持していかないといけないというのが業界の共通認識でございます。

我々化石燃料を生業としている業界にもカーボンニュートラルという課題に直面しています。政府主導の排出削減目標でございますが、2030年には46%のCO₂排出削減達成、2050年実質排出ゼロのカーボンニュートラル達成という目標に向かって各業界で議論が進んでいることと思います。石油元売りとは言いますと、再生可能エネルギー由来の水素とCO₂で製造する合成燃料の商用化にも力を入れています。2040年は自立商用化を目指していると聞いております。まだ少し先の話ですが、既存インフラも活用できるといわれているため、私たちはこの合成燃料に期待したいと思っております。

◎石油連盟の2021年10大ニュース

1. 石油業界のカーボンニュートラルに向けたビジョン(目指す姿)の策定
 CO₂フリー水素や合成燃料等の革新的技術の研究開発と社会実装にチャレンジすることで、事業活動に伴うCO₂排出の実質ゼロを目指すとともに、社会全体のカーボンニュートラルに貢献する。
2. 第6次エネルギー基本計画の策定
 2050年カーボンニュートラル、2030年度40%削減、更に50%の高みを目指して挑戦を続ける新たな削減目標の実現に向けたエネルギー政策の道筋を示す。
3. 地球温暖化対策計画の改定
 10月、政府は地球温暖化対策計画を5年ぶりに改定。11月、経団連は「低炭素社会実行計画」を新たに「カーボンニュートラル行動計画」として策定し、石油業界も引き続き積極的に参加。
4. 2030年度排出削減目標「-46%」への引き上げ
 4月、菅前首相は米国主催の気候変動サミットにおいて、2030年度の排出削減目標につき「-46%」への引き上げを表明。
5. カーボンニュートラルに向けた技術開発の動きが始まる
 政府は、2兆円の「グリーンイノベーション基金」を設置し、カーボンニュートラル実現に向けた技術開発への支援を開始。
6. 新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く
 人流がないのでジェット燃料を中心に石油需要の減少傾向は続く。石油業界は感染拡大防止策を徹底し、国民生活に必要な石油製品の安定供給に努めた。
7. 原油価格の高騰・OPECプラスの存在感の高まり
 OPECプラスが協調減産幅をコントロールする中、新型コロナウイルスにより停滞していた経済活動の再開を見込んで原油価格が高騰。政府は限定的、緊急避難的な激変緩和措置として燃料油の卸売価格を抑制する措置を導入するとともに、米国や関係国と歩調を合わせて油種入れ替えの前倒しによる国家備蓄の売却を決定。
8. 災害時等にも石油の安定供給を確保
 豪雪・豪雨災害時にも被災地への石油製品の安定供給を確保。また、全石連とともに「ガソリン満タン&灯油プラス1缶」を推進。
9. 令和4年度税制改正要望活動の展開
 石油に対するさらなる増税に反対等の税制改正要望活動を展開。

10. 岸田新政権の発足

臨時経済対策に合成燃料の技術開発・実証が盛り込まれた。

次世代エネルギーとして再生可能エネルギーと並んで期待されているのが水素エネルギーです。脱炭素社会に向けた選択肢として重視され、内外の石油産業も水素社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

○究極のクリーンエネルギー

水素エネルギーの第1の特長として、消費段階では温室効果ガスが発生しないことが挙げられます。通常、水素は燃料電池の燃料として発電に利用され、空気中の酸素と反応して水しか排出されません。エネルギーとして消費する際にはCO₂が出ないのです。

第2の特長として、幅広い多様な利用が期待できることです。既に燃料電池は、燃料電池自動車（FCV）、燃料電池バスといった輸送用、電熱併給可能な家庭用・業務用の定置型燃料電池等が実用化され、水素直接燃焼による発電もあります。

第3の特長は、水素原料の確保手段として、多様な調達手段が存在し、エネルギー安全保障にも資することです。ただ、水素は天然には存在しないため、人為的な製造が必要となります。基本的な製造手段としては、水の電気分解と化石燃料の改質の2つがあります。いずれも、水素製造にエネルギーが必要となることであり、また、改質の場合には製造段階でCO₂が発生するという問題があります。

○水素供給インフラ

もう1つの問題は、水素供給のインフラ、サプライチェーンの姿が明確でないことです。FCV向けの水素ステーションは2018年度段階で全国に103ヶ所ありますが、多くはロータリーで液体水素の供給を受けています。海外から大量輸送する方法、国内での輸送方法・貯蔵方法については、現時点では決め手に欠けています。安全確保も重要で水素ステーションの建設費は約4～5億円（通常の給油所の4～5倍）といわれます。コストの低減が最大の課題です。

○次世代自動車と石油業界

自動車の技術革新を象徴する言葉として、2016年10月、メルセデスは長期戦略においてCASEを提唱しました。具体的には、①コンピューターやスマホ等情報機器と「つながる自動車」、②安全性向上のための「自動運転」、③自動車を所有ではなく共有する「シェア」、④「電動化」の4つの頭文字を取ったものです。

例えば、①はIoTやビックデータの活用による利便性の向上が狙いです。②はわが国では高齢者事故対策や運転手不足対策として期待されます。③は消費者の「持つ」から「使う」への価値観の変化が反映されています。わが国では「白タク営業」との関係で、レンタカー類似の会員制の「カーシェア」が中心です。④は環境対策の観点から政策的に進むと思われます。

自動車の技術革新が話題となる中、地球温暖化対策の観点から、また、燃料不正によるディーゼル乗用車への不信感の高まりから、乗用車の電動化の動きが世界的に活発化しています。2017年7月、仏・英両政府は相次いで2040年までにガソリン・ディーゼルを燃料とする内燃機関乗用車の販売を禁止する方針を発表しました。わが国も2018年7月、経済産業省の「次世代自動車戦略会議」で2050年までに乗用車の新車100%の電動化を目標としました。現時点では、電気自動車には、航続距離が短い、充電時間が長い、充電インフ

ラが足りない、車両価格が高い等の問題があり、これらの課題を克服するためには、バッテリーの技術革新や政策支援の拡充が不可欠です。

原油価格が高騰する中、革新的な技術革新が進行しました。「シェール革命」は米国を世界最大の産油国にし、世界のエネルギーの供給構造・国際関係を大きく変えました。

シェールガス・オイルは、通常の天然ガスや原油より深い地下2～4,000m程度の硬い頁岩（シェール）層から、水平方向への水平掘削技術や硬くて緻密な地層を水圧で砕いてゆく水圧破砕技術を用いて生産される非在来型の天然ガス・原油です。

シェール革命によって、米国はこの10年間で石油生産は倍増、2014年に世界最大の産油国・産ガス国となり、2019年末には石油の純輸出国になりました。

わが国の輸入原油の約8割はホルムズ海峡を通過しています。ホルムズ海峡は石油輸送上の戦略的要衝であることから、その安全航行は世界のエネルギー安全保障の必要条件です。ホルムズ海峡は、インド洋とペルシャ湾をつなぎ、イラン領とオマール領に面した世界最大の石油輸送の戦略的要衝で、最狭部は34km、潮流が速いという地理的条件にあります。石油の輸送量は2100万バレル/日で、世界の石油需要の約2割、石油貿易の約4割が通過し、わが国の原油の約80%が通航しています。封鎖を行えば米軍が介入することが明らかであることから、イスラム体制の維持に係わるといった事態に至らない限り、イラン政府による封鎖は考えられませんが、偶発的事象に起因する航行の阻害、軍事的衝突の可能性は否定できません。

○ガソリン税について

現在ガソリン税は53.8円/ℓです。ガソリン税の正式名称は、揮発油税と地方揮発油税の両税をあわせた通称です。揮発油税は戦後の財政不足に対応するために一般財源として1949年に創設、1954年度からは道路整備臨時措置法に基づき道路を緊急かつ計画的に整備するために、道路特定財源とされました。

特定財源は、税収を特定の公的サービスの財源にあてることとされています。消費課税を言います。消費者が道路整備にかかるコストを負担すると言う意味。

2009年度から、ガソリン税を用途を特定しない一般財源に変えました。今までの目的は道路を整備するための財源にあてていましたが、これからは色んなものに使えるようになりました。

※第2805回例会 2022. 1. 27
〈新年夜間例会 18:30～ 於：割烹若鯨〉

本日の出席率

・本日の出席率 95.12%

ニコニコボックス

- ・阿部泰彦会員 傘寿なんてめでたくないけれど、ありがとうございます!!
- ・江川元徳会員 傘寿、知らないうちに年齢が増えました。これからも健康に注意して頑張ってください。皆様へ感謝!
- ・及川昭宏会員 還暦の年を迎えました。よろしく。
- ・高田次雄会員 還暦、古稀、喜寿、傘寿を無事迎えられました皆様おめでとうございます。百寿祝を迎えられますよう願っております。
- ・二階堂恭子会員 歳祝の方々おめでとうございます。

- ・武川毅会長以下 会員の皆様の健康を祈念します。
佐々木崇会員 佐藤幸一会員 八谷郁夫会員
佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 氏家良典会員
菅野幸一郎会員 佐竹孝行会員 猪股育夫会員
佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 高橋利光会員
菅原慶一会員 山田正会員 小野寺伸浩会員
富士原裕子会員 太田陽平会員 岩淵栄市会員
杉田広仁会員 佐藤早智子会員 及川富男会員
千葉正宏会員 加藤亮会員 阿部靖公会員
伊藤幸子会員 佐藤哲弥会員 關孝会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 武川毅会長

歳祝を迎えられた会員、その他会員の皆様、今年一年健康で過ごされますことを願って祈っていただきました。世間では今週一週間はオミクロン株の爆発的な広がりへのニュースでもちきりでした。現場の医療関係の方に聞きますと、感染しても軽症だと言われておりますが、かなり大変な症状だということです。皆さん感染しないように用心しながら過ごしていただきたいと思っております。

本日の祈祷で新型コロナウイルスを吹き飛ばしたいと思っております。今年一年よろしくお願い致します。

幹事報告 千葉正宏幹事

・特になし

歳祝会 (司会：加藤亮親睦活動委員長)

- ・傘寿を迎えられる会員
阿部泰彦会員 森田峯男会員 江川元徳会員



歳祝いの会員を囲んで



歳祝会



会員を代表して



傘寿を迎える会員



喜寿を迎える会員



古稀を迎える会員



還暦を迎える会員

- ・喜寿を迎えられる会員
富士原裕子会員
- ・古稀を迎えられる会員
宮崎裕会員 岩淵正彦会員 及川富男会員
佐藤敬喜会員 岩淵栄市会員
- ・還暦を迎えられる会員
阿部靖公会員 及川昭宏会員 千葉正宏会員
- ・阿部泰彦会員のあいさつ

今日は、お祝いありがとうございました。人間の人生のスピードは年齢に比例すると言われます。60歳の人は60km、古稀の人は70km、喜寿の人は77km。私は傘寿です。常に80kmで走っておりますので墓場まで行くのは「あっ」と言う間です。朝目を覚まして1日体を動かして夜寝ると、すぐ朝が来ると言うことで「何でこんなに時間が経つのは早いのかなあ」と思います。これからも残された時間を頑張りたいと思います。人生百までと言いますので、一生懸命頑張ります。

・江川元徳会員のあいさつ

お祝いしていただきありがとうございます。感謝申し上げます。何年か前、布施孝之先生と鈴木彦太さんに紹介していただき入会いたしました。入会以来何年間かは一番若い会員でした。佐藤敬喜会員の入会でやっと一番若い会員でなくなりました。なかなか皆様のお役に立てることが少ないのですが、出席100%は続けております。これからもよろしくお願い致します。皆様も健康第一でお過ごし下さい。(時間の関係で、代表して2会員にお願いしました。)